

【計画】6-1. 気候変動による有明海・八代海における漁業及び沿岸生態系への影響調査

【分野:水産業、対象地域:熊本県(福岡県、佐賀県、長崎県、鹿児島県)】

■ 目的

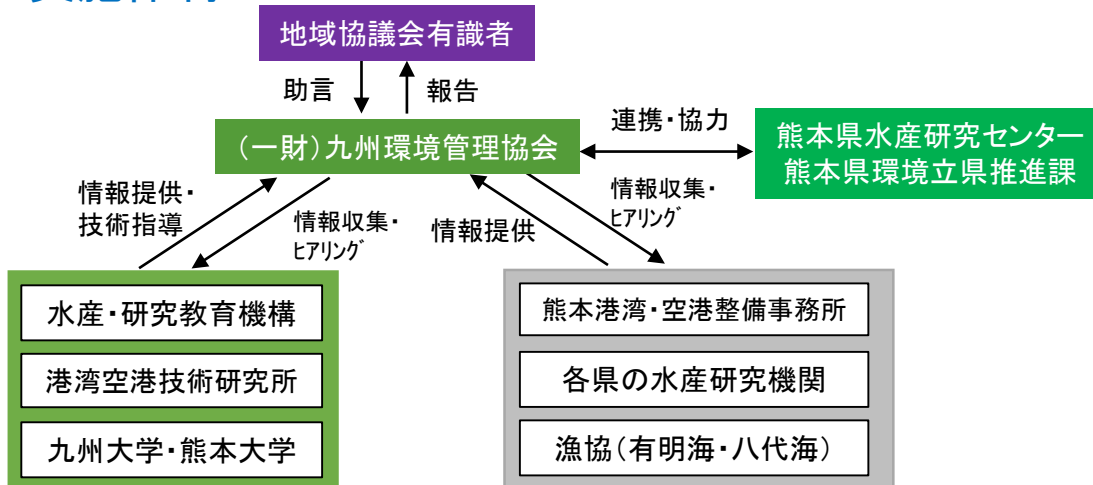
- 気候変動の影響による海水温上昇、集中豪雨増加による海域への土砂・流木等の流入
→水産資源の減少、漁場環境及び沿岸生態系への影響

漁業が盛んな有明海・八代海における漁業及び沿岸生態系に及ぼす気候変動の影響の検討と適応策の検討

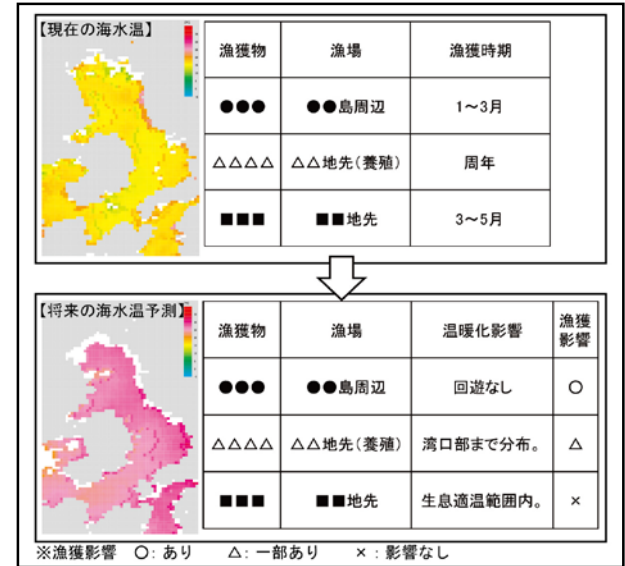
■ 調査計画

- 漁業・生態系等への影響要因の抽出、漁場・干潟環境調査 (平成29年度)
- 漁場・干潟環境調査、生物生息推定モデル^{注)}構築、数値シミュレーション (平成30年度)
- モデル地区の漁場・干潟環境調査、漁場環境変化予測、適応策の検討(平成31年度)

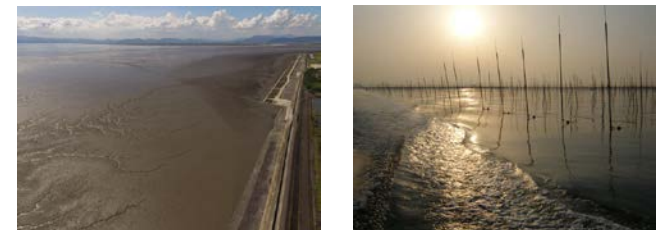
■ 実施体制



注)生物生息推定モデル
対象種の分布情報と、水温、塩分、栄養塩濃度等の環境条件から、対象種が生息・成長可能な環境であるかを推定する。気候変動による気候変化予測と組み合わせることで種への影響を評価することができる。



影響評価のイメージ



有明海((一財)九州環境管理協会撮影)